

## 研究・調査報告書

報告書番号	担当
403	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学
題名 (原題/訳)	
Synergistic association between alcohol intake and body mass index with serum alanine and aspartate aminotransferase levels in older adults: the Rancho Bernardo Study. 高齢者の血清アラニンとアスパラギン酸アミノトランスフェラーゼレベルにおよぼすアルコール摂取と BMI の相乗的な関係 : the Rancho Bernardo Study.	
執筆者	
Loomba R, Bettencourt R, Barrett-Connor E.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Aliment Pharmacol Ther. 2009 Dec 1;30(11-12):1137-49.	
キーワード	
高齢者、血清アラニン、アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ、アルコール、BMI	
要旨	
目的： BMI とアルコール消費とその組合せの効果による血清アラニン(ALT)およびアスパラギン酸(AST)増加リスクの上昇は、アメリカ合衆国の地域在住高齢者では明らかになっていないため、これらの関係を明らかにすることを目的とした。	
方法： 一般住民を対象とした横断研究である the Rancho Bernardo Study の 1984-87 年の参加者(n=2364, 女性割合 54%, 平均年齢 70 歳, BMI 25 kg/m <sup>2</sup> , 飲酒者割合 63%)を対象とした。BMI はトレーニングを受けた看護師により記録され、飲酒量は検証済みの質問票によって確認された。ロジスティック回帰モデルを用いて、血清 ALT と AST の増加を男性 > 30U/L, 女性 > 19 U/L と定義したときのオッズ比 (OR) と 95%信頼区間 (CI) を、アルコールと BMI 別々に、またそれらの同時曝露による影響を計算した。	
結果： 年齢、アルコール摂取量、総コレステロール、血清トリグリセリド、空腹時血糖、収縮期血圧、糖尿、肥満を調整した多変量ロジスティック回帰モデルにより、コホート内の高齢男女において肥満は独立して ALT 増加のオッズ比を男性で 3.0(95% CI, 1.7-5.3), 女性で 1.8(95% CI, 1.1-2.7)上昇させた。1 日 3 杯以上のアルコール消費と肥満の合計効果はオッズを上昇させ、ALT8.9 倍 (95% CI,2.4-33.1)と AST 21 倍 (95% CI, 2.6-170.1)の相乗効果を示した。肥満者は、1 日 1 杯以下のアルコール摂取でさえ、ALT 増加のオッズがより高かった。	
結論： 高齢男女において、肥満とアルコールの組み合わせは、肝障害のリスクを増加させる。	